

No.36  
2017.

3

# とよおが 農香だより



**農業委員会活動 3年間を振り返って…2P~3P**  
**豊岡市伝統農産物・特産農産物等マップ…4P~5P**  
**シリーズ「きばっとななる人らあ」…6P**  
**伝統野菜「八代オクラ 新たな展開へ」…8p**

写真：豊岡市九日市中町の谷山道洋さん悦子さんご夫婦。出石町にある牛舎「ファーム道E・KTR」で 関連記事/6p

# 3年間を振り返って

## 豊岡市の農業の発展に向けて

豊岡市農業委員会 会長 平田 敏通



会長という大役を受けてから早や三年が経過しようとしています。

当初から、日本農業を取り巻く環境の変化に対応すべく、農業委員会のあり方が議論され始め、独立行政機関として現状認識をしっかりとし、組織理念である「かけがえのない農地と担い手を守り、力強い農業をつくる。かけ橋」となることを合言葉に、農地を守る許認可や政策要求、地域農業の活性化が振興されるよう行政当局と関係機関との連携を密にし、お互いが協力し責任を果たすべく、委員全員が一丸となって取り組んで参りました。

また、T P P交渉が本格化する中、農産物重要品目の聖域確保のための活動、自給率向上に向けた新農政施策「人・農地プラン」への積極的な取組み、担い手支援対策として意見交換会や出前就農相談会の開催、遊休農地解消に向けたパトロール活動や話し合いによる解決、食農教育や地産地消の推進等、現体制でできる限りの活動に精一杯取り組んできた三年間でした。

戦後65年続いた農業委員会法の改正により、委員公選制の廃止・定数削減等が行われ、本市では4月21日から新体制が発足します。農業・農村を取り巻く環境の変化を考慮すれば、改革もやむを得ないことかと理解をする一方、これで良い方向なのかと考えさせられます。新たな制度の下でスタートする農業委員・農地利用最適化推進委員との相互協力の中で、豊岡市の農地が守られ、農業者の皆さんがより発展することが出来るよう祈念申し上げますとともに、委員会活動へのご協力ご指導をいただきました皆さんにお礼を申し上げます。挨拶いたします。

## 農地利用の最適化に期待する

農地部会会長 川見 茂



私たち農地部会は、農地を守る立場で、農地法に基づく農地の権利移動等の許可、農地の転用の県知事への意見具申の決定、利用権を設定や農振計画に係る農用地利用計画の変更に対する意見の決定など、年間三〇〇件にのぼる案件を審議し議決してまいりました。

この三年間、これらの審議を通して、農地の集約に資する権利移動がある中、後継者不在のため止むを得ず農地を売却せざるを得なくなった、又は、我が集落の農地を守るため購入することとなった事例、或いは、農地としての維持が困難になるなどの理由から太陽光発電施設への転用など、農村が抱える問題を反映した事案が多く見受けられました。

農地部会においては、このような状況を踏まえ、法の遵守を前提に、現地調査等による現状確認の上、地域の立場に立った審議に努めて参りました。

また、この度の農業委員会法の改正により、農地の担い手への集積・集約や遊休農地の発生防止・解消などが益々重要な業務と位置付けられ、これまで以上に地域の皆様の意見をお聞きし、地域の現状をしっかりと把握し、農業と農村が持続可能であるために活動しなくてはならないと実感しています。四月には、農業委員と農地利用最適化推進委員による新体制となり、益々、農地等の利用の最適化が進められることを期待します。

最後に、地域の皆様と共に活動した委員の皆様のご協力に感謝し、お礼を申し上げます。

## 地域は小さな農家のつながり

農政部会会長 森井 脩



農地の集積で経営規模の拡大、企業の農業参入促進、輸出拡大、規制緩和などで、強い農業・攻めの農業を目指すことがグローバルイズムの下で進められています。ただ、それだけでなく、家族経営の小規模農家が支えている地域の実情に合った農業の姿を求めることも大切だと思います。大規模農家だけでは地域農村の農地や環境を守り続けることは困難です。地域は多くの農家がいて、つながってこそ成り立つのだと思います。

農政部会では、今日の地域農業の抱えている諸課題について、土地を知り、人を知る農業委員として、部会内での議論を深めると共に関係する諸団体・農業者との意見交換を行い、高齢化・後継者不足問題、有害鳥獣対策、環境創造型農業の推進と地産地消の拡大などについて、小委員会を設けて活動を展開し、その成果を建議に盛り込み豊岡市の農政に反映させてきました。こうした豊岡市農業委員会独自の活動は高い評価を得てきています。

この三年間、様々な困難の中で前向きに取り組んでいる農家の人たちから多くのご協力をいただきました。皆様のご協力に感謝し、お礼申し上げます。

# 農業委員会活動

## 地産地消と食農教育の推進委員会

(委員長 中山 優)



本委員会では、①地場産農作物の学校給食等への利用促進②地産地消と食農教育の推進③環境にやさしい農業の推進を柱に取り組んできました。

地場産農産物の学校給食使用率を高めること、幼いころから農業体験ができるような配慮、「コウノトリ育む農法」の生産から販売までの支援体制強化等を建議しました。

実践活動では、直売所連絡協議会との意見交換会、三年間にわたり港認定ことも園でダイコンやサツマイモを畑作りから収穫、調理して食するところまで子どもたちと一緒に体験しました。小坂小学校では、児童自作の大豆で味噌作りもしました。六次産業化につながればと、地場産の材料で巻きずしを作り爆発的な人気を誇る多可郡「マイスター工房八千代」のほか、小野市、富山市でも研修し、「農委だより」等で内容紹介をしました。

また、JAたじまの「あぐりキッズスクール」事業に参加。本年度は「コウノトリ育む農法」でのポット成苗の田植え

等現地研修や、伝統野菜・特産農産物の発掘・紹介の一環として「八代オクラ」を栽培、種を採取し栽培希望者にお渡ししました。

まだまだできることはありそうです。次期農業委員の益々のご活躍を期待しますと共に地域の多くの方々にご支援ご協力をいただきましたことを心よりお礼申し上げます。



## 担い手育成支援推進委員会

(委員長 永井辰正)



平成26年8月、「雇用就農の課題と展望について」意見交換会を開催、中谷農事組合、グリーンいずし、(有)あしたで働いている若い就農者たちの現状や夢を聴かせていただきました。目標に向かって就農されている若者たちの心意気に敬意と感動を覚えると共に、本委員会でも応援したいと、以後毎年度就農者達との意見交換会を開催しました。そこでの意見・要望は、建議として市長へ提出しました。

ところで、農業に魅力がないという感覚：天候に左右され、冬場の雪による被害、農業だけでは生活できない、配偶者に恵まれにくいなど、現実に厳然としてあります。兼業農家も高齢者も多い豊岡市では、なおさら田畑は大切な財産で、農地集積化の大きな妨げにもなっています。

豊岡市全体が農業を重視し、地産地消、安心・安全な農産物栽培に一丸となつて取り組むことが不可欠であると考えらるならば、若い担い手の確保・育成は欠かせません。

安心して就農できるためには、法人の起ち上げ・機械整備・圃場確保・制度紹介等へ惜しみない援助が必要です。

今後とも、ベテラン・新たな担い手の皆様からのご指導やご意見を賜わり、四月からの新体制の農業委員会が、今期以上に農業者と心を同じくして市の農業施策に寄与し、その責任の一端を担うことを期待します。

## 獣害対策検討委員会

(副委員長 加藤 宥)



本委員会では「農家の皆様と行政との橋渡し役」と自覚して活動しました。平成26年度に但東(矢根)地区、27年度に日高(西気・清滝)地区及び市有害鳥獣捕獲班の方々と、また、28年度は港地区全域の関係者と意見交換会を行いました。

日高地区と港地区での意見交換会には、市担当者や鳥獣対策員の岡居さんにも出席いただき、補助制度の説明、獣害の現状や対策・捕獲班の活動状況・被害防止のアドバイス等を頂きました。これらの活動から、捕獲班員の増強、捕獲出動回数の増加、継続的な駆除体制、各地区設置の捕獲檻の通年使用、防止柵等の設置や補修の補助拡充、クマ対策等について建議をしました。当局のご理解により、鳥獣対策員の増員、ワナ捕獲専任班の創設、各地区設置の捕獲檻の通年使用等が実現し、『橋渡し役』として一定の役割は果たせたのではないかと考えています。

次期農業委員は数が半減し、獣害対策への取組みが低下するのではと懸念しますが、『獣害』は、耕作意欲を喪失させる放置できない課題です。次期も引き続き、取組みが行われることを期待しています。



# 特産農産物等マップ

## 豊岡市伝統農産物・特産農産物等の掘り起こしについて

豊岡市には、昔から農家や地域で大切に守られてきた多くの伝統農産物や特産農産物等があります。豊岡市農業委員会では委員が聞き取りなどで、これらを掘り起こすことにより、消費者の皆さんに知ってもらい地域農業の振興に役立てたいと考えました。

- ◆ 伝統農産物とは、その地域に古くからある特異性のある農産物で、自家採種等でその形態を保存し、地名等がつき生産地を表しているもの。
- ◆ 特産農産物とは、地域にとって重要な農産物であって、ある程度まとまった面積があり、経済的に成り立つよう改良しながら生産されているもの。として整理しました。



### 広域

コウノトリ育むお米・ピーマン・豊岡ぶどう・山椒



コウノトリ米



豊岡ぶどう

### 但東

シルクコーン・シルクナス・椎茸・山うど・ツタンカーメンえんどう・赤花そば・保谷の赤ズイキ・バラジャム・(どぶろく)



山うど



保谷の赤ズイキ

# 豊岡市

# 伝統農産物

## 豊岡

アイガモ米・トマト・細ネギ・立野ネギ  
 ギ・イチゴ・ナシ・レタス・ショウガ



トマト



イチゴ



レタス



ショウガ



## 日高

栃の実(餅)・大<sup>みの</sup>濃柿  
 (干し柿)・リンゴ・神  
 鍋ワサビ・神鍋高原  
 キャベツ・神鍋スイカ・  
 ハクサイ・八代オクラ・  
 進美ナス・殿さんそば



八代オクラ



神鍋スイカ

## 出石

ブルーベリー・フク  
 ノハナ・小野イモ・  
 たくあんダイコン・  
 黒大豆枝豆・そば

## きばっとんなる人らあ ③5

このコーナーでは、  
地域で頑張る農家のみなさんを紹介しします。



夢を語り合える仲間と一緒に。谷垣和宏さん(前列左)

### 来日岳の麓で、本気で一緒に生産しませんか

城崎街道農林水産物直売所「旬」代表 谷垣 和宏さん (64歳)

「『笑顔で売っとんなるなあ!』、『店の良い雰囲気  
が伝わるわあ』と、生産も販売もしている会員は、  
お客様から声をかけられるくらいになってきました」  
と谷垣代表。

青年が集わず婦人会もなくなり、集会施設もなく、  
地域の活力低下を痛いほど感じておられた谷垣  
代表は、みんながもう一度集い、どんなことでも語  
り合える拠点がほしいとの積年の思いを、地域の仲  
間達と、城崎に向かう県道沿いのコンビニ横に、昨  
年の夏「生産者の顔が見える直売所『旬』」に託さ  
れ開業されました。

新鮮・安全・安心をモットーに、現会員10名が  
生産・収穫されたものを持ち寄り、売値も自分が納  
得する安い価格をつけ自分たちで売る。その日の売  
上げは、現金でもらう。作り方の情報交換を惜しみ  
なくする。谷垣代表自家製の防虫耐病用の「もみ酢」  
が仲間にも広がりつつある。販売品は人気のキュウ  
リ・白菜から、山菜・シイタケ・柿・桃・ぶどうに  
淡水魚のホンモロコ...

会員たちの夢は絶えません。特に「仲間を増やし  
たい。城崎の地域で一緒に農業などをしてくださ  
る方があれば、シイタケ・桃等の栽培、住宅の斡旋も  
含め、定住化も促進したい」と。

また、「『旬』独自のものを生産販売したい。生産  
物を大消費地城崎の旅館で使ってもらえるまで  
になりたい」とも。

昨年11月、突風で飛ばされてしまった店舗は4  
月までには再建し、地主並びに隣接の好理解者のコ  
ンビにも協力を得て再開される予定です。

趣味の卓球・登山等で味わってこられた人間同士の  
ぬくもり。元気なコミュニティを必ずやもう一  
度!と願われる代表の、エネルギーと熱い思いが伝  
わってきました。(永井辰正委員)

## 愛する牛とまっすぐ生きていく

ファーム道E・KTR 牧場主 谷山 道洋さん (38歳)

非農家出身の谷山さんは、出石街道をトラックで  
走っていた30歳の頃、楽しそうに飛び跳ねる子牛  
たちが目に飛び込んできました。「自分の進む道は  
これだ!」と、トラックのドアを開けて飼主の家に  
飛び込まれました。「明日から牛の世話を手伝わせ  
てください」…これが事の始まりでした。

しばらくして繁殖牛を飼いたくて農業改良普及  
センターを訪ねたところ、大規模農家を紹介され、  
従業員として、また夜にはバイトをしながら働かれ  
たそうです。

更なる勉強がしたいと思い、従業員をやめて愛知  
へ飛び、牛のヒヅメを切る「削蹄師」として認めら  
れる技術を取得されてこられました。

帰郷後、「自分の手で繁殖牛を育てたい」との  
変わぬ気持ちと体験を持って再度普及センターを  
訪ねると、現在の牛舎の紹介や各種農業制度等の説  
明も、詳しくしていただいた、と感謝の思いを話し  
ていただきました。

豊岡市・JAたじま・近隣農家の応援をいただき、現  
在は11頭の繁殖牛を飼育されておられます。当初  
反対していた妻の悦子さんは、「信じている主人を妻と  
して助けたい」と、自らも勤めをやめることを決断。  
市の「豊岡農業スクール」を活用し畜産の世界に飛  
び込まれました。

「牛に手を掛ければ掛けるほど牛との信頼感が強  
くなりますね。皆、愛しいんです。息子たちが遊びに  
来たら一目散に牛のブラッシングに行くんですよ」

好きな言葉は?と道洋さんに尋ねると、「『まっす  
ぐ!』です。」と。共通の目的をもって歩み始めたご  
夫婦。何が来ようと『まっすぐ』に立ち向かわれ、  
きっとお二人で乗り越えていかれるんだろうな、と  
確信させていただきました。(中山優委員)



愛する牛と。谷山道洋さん



## 女性に優しい! 農業者年金で 安心して豊かな老後を!



### 奥様も単独で入れます!

#### 農地売買情報

農業委員会では、農地の利用集積を進めるため、農地の出し手や受け手の掘り起こし活動を行っています。  
購入を希望される方は農業委員会事務局（TEL21-9021）へお問合せください。

○売買情報

農地の所在	地目	現況	面積(m <sup>2</sup> )	希望売買価格
出石町室埴弘原松ノ下581	田	畑	1,100	応相談

国民年金の支給額は月額最高6万5千円、夫婦お二人で約13万円です。一方、高齢農家の家計費は夫婦お二人で23万8千円が必要となるデータがあります。➡月額約10万円不足！  
国民年金の不足分をしっかりとカバーします！

#### 65歳～87歳の年金額(夫婦)

#### 88歳～92歳の年金額(妻のみ)(例示)

[ケース1] 農業者年金に夫のみ加入	国民年金 夫 月額6万5千円 妻 月額6万5千円	国民年金 妻 月額6万5千円
	計 月額13万円	
	農業者年金 夫 月額4万3千円	農業者年金 なし
	合計：月額17万3千円	合計：月額6万5千円
[ケース2] 農業者年金に夫婦で加入	国民年金 夫 月額6万5千円 妻 月額6万5千円	国民年金 妻 月額6万5千円
	計 月額13万円	
	農業者年金 夫 月額4万3千円 妻 月額3万7千円	農業者年金 妻 月額3万7千円
	計 月額8万円	
	合計：月額21万円	合計：月額10万2千円



◆加入・申込は近くのJAたじま窓口、もしくは農業委員会事務局へ

●農業者年金基金HPより

### 農地の賃借料情報

平成28年1月から12月までに締結(公告)された賃貸借(借賃が有料のもの)における賃借料水準(10a当たり)は、以下のとおりです。平成29年2月1日 豊岡市農業委員会

#### ■田(水稻)

締結(公告)された地域名	平均額(円)	最高額(円)	最低額(円)	筆数(借賃が有料のもの)	使用貸借筆数(借賃が無料のもの)
豊岡地域(旧豊岡市)	10,900	19,800	5,300	54	94
城崎地域(旧城崎町)	-	-	-	-	-
竹野地域(旧竹野町)	6,900	10,000	6,600	10	21
日高地域(旧日高町)	6,200	10,000	2,000	113	41
出石地域(旧出石町)	6,700	11,000	3,000	100	26
但東地域(旧但東町)	5,000	6,600	2,000	24	41
(参考)豊岡市全域平均	7,100			301	223

#### 【この表の見方】

- 筆数は、賃貸借が設定されたもののうち、借賃が有料のもの筆数です。ただし、特殊な取引と推測されるもの(著しく高い場合や低い場合)は筆数から除いています。
- 借賃を現物で定めている場合は、60kg当たり13,200円で換算しています。
- 平均額は、算出結果を四捨五入し、100円単位としています。
- 参考のために使用貸借(借賃が無料のもの)の筆数もお知らせします。
- 前回に続き、城崎地域では事例が少ないため表記していません。また、畑については事例が少ないため算出していません。
- この水準は、あくまでも情報提供ですので、土地の広さ、形状、水利等の条件に応じて、貸し手と借り手の双方で十分協議してお定めください。

For Earth, For Life  
Kubota

REXIA

Sluggo



## 農作業を変えてきたパワクロ。

### 乗り心地も大きく進化。

走行振動・騒音を大幅に低減し、乗り心地が大きく進化した第2世代のパワクロ。クローラの耐久性、メンテナンス性も向上し、道端への泥落としても軽減しています。

株式会社 近畿クボタ

本社: 尼崎市浜1丁目1番1号  
TEL 06-6491-6633

但馬地区: 和田山営業所・八鹿営業所・出石営業所  
日高営業所・豊岡営業所・浜坂営業所・香住営業所



# 伝統野菜 八代オクラ 新たな展開へ



豊岡営農生活センター 水島次長に受け取っていただきました。

**前号**でも紹介しましたが、本年度日高町の吉岡亮さんのご協力で、八代オクラを農業委員会でも栽培し採種しました。

多くの市民の方も気軽に栽培し食べられるような地域に根差した地場農産物になることを願い、希望があった53件の皆様に種をお渡ししました。

また、豊岡の農業を推進されている但馬県民局豊岡農業改良普及センター、JAたじま豊岡営農生活センター、同日高営農生活センターなどに採種した種を持参し、栽培拡大をお願いしました。



豊岡農業改良普及センター 羽瀨所長をお願いしました。



日高営農生活センター 長谷川センター長をお願いしました。

## 早速

JAたじま日高営農生活センター長から、「**学校給食の食材として** 提供できるよう農家の皆さんに協力をお願いします。」と、快く対応していただきました。

作りやすく、栄養価も高い、おいしい八代オクラが、豊岡市の特産農産物になればありがたいと、大いに期待しています。

## 編集後記

◇第4期豊岡市農業委員は、この農委だより36号で任期を終え、来期より新体制の農業委員で農業委員会は運営されます。

◇ここ10年で、但馬の農業はコウノトリの放鳥と共に、無農薬、減農薬栽培の作物が増えました。

◇六方平野の圃場を見ると、コウノトリ米の栽培が盛んに行われ、生き物が増えています。

◇春の耕運、代播き、夏の除草機による除草、秋の稲刈り、耕運、冬期湛水の代播き時等に、コウノトリのつがいトラクターの後ろについて餌をとっています。

◇また、冬期湛水で圃場が湖のようになると、白鳥の群れが越冬します。

◇こんな素晴らしい自然と農業を守っていききたいと思っています。

(編集委員長 北垣裕次)



農業委員会だより第36号は私たちが担当しました



## 潮騒と松風につつまれた 心やすらぐ海辺の宿

山陰日和山海岸 ● 津居山港

# みはら荘

〒689-6124 兵庫県豊岡市気比3880-10  
TEL0796-28-2281 FAX0796-28-2534  
<http://miharasou.jp/>

